


6. 高度技能取得を


目指した

生徒の企業実習

高度技能取得に係わる生徒の企業実習 県立長井工業高校 H21年7月34日

この事業のねらい	① 技能検定2級（旋盤作業）の課題に向けた技術・技能の向上を図る。 ② 技能検定の指導方について、講師と協力して研究する。
参加生徒	機械システム科3年生 須藤太一 1名 (昨年度3級技能士（旋盤作業）を取得し、今年度2級技能士を受検する。)
テーマ	2級技能士（旋盤作業）の実技研修
期日・時間数	平成21年7月3日（金）～4日（土） 合計6時間
企業名等	個人 横倉正和氏（ポリテクセンター元職員）
所在地	山形市花楸町1-14-8
講師(資格名等)	横倉正和氏（ポリテクセンター元職員）
教育課程の位置付	課題研究 2単位
研修内容	① 技能検定2級（旋盤作業）の使用工具について ② 4つ爪チャックの芯だし法 ③ 軸の偏心の仕方 ④ ねじ切り法 ⑤ 技能検定2級（旋盤作業）の実技課題について 加工工程、加工中の注意点 ⑥ 技能検定2級（旋盤作業）の寸法測定法、
写真	 <p>技術指導をする 横倉氏 と 受講生の機械システム科3年 須藤太一君</p>
評価と課題	<p>成果</p> <p>① 2級旋盤作業の開始から終了までの一連の流れと、2級の最大の課題である4つ爪チャックの旋盤の芯だし法について理解し、知ることができた。</p> <p>② 2級旋盤に必要な工具について検証することができた。</p> <p>③ 技能検定、実技課題製作のための加工工程の資料等を頂くことができ、今後の指導する上で貴重な財産となった。</p> <p>課題</p> <p>① 2級技能検定（旋盤作業）の資格所持者は地元企業に何人かいるが、生徒に対する指導となると、慣れていない面もありむずかしい。</p> <p>② 2級は3級ともまた違い、特殊な工具や精密な測定具を必要とする。今回の受講者は1名なので何とかあったが、複数受験となると、それに伴う工具・測定具の準備が必要である。</p> <p>③ 8/6に実技試験、8/30に学科試験があるので、それまで練習を積み重ね、合格させてやりたい。</p>

高度技能取得に係わる生徒の企業実習 県立長井工業高校 H21年7月30日

この事業のねらい	① 技能検定2級（旋盤作業）の課題に向けた技術・技能の向上を図る。 ② 技能検定の指導方について、講師と協力して研究する。
参加生徒	機械システム科3年生 須藤太一 1名 (昨年度3級技能士（旋盤作業）を取得し、今年度2級技能士を受検する。)
テーマ	2級技能士（旋盤作業）の実技研修
期日・時間数	平成21年7月30日(木) 合計3時間
企業名等	個人 横倉正和氏（ポリテクセンター元職員）
所在地	山形市花楸町1-14-8
講師(資格名等)	横倉正和氏（ポリテクセンター元職員）
教育課程の位置付	課題研究 2単位
研修内容	① 技能検定2級（旋盤作業）の実技試験・総仕上げ ② ダイヤルゲージによる4つ爪チャックの芯だし ③ 外径の違う面の表面荒さと主軸回転数 ④ シリンダゲージの使い方 ⑤ テーパー穴の面取り法 ⑥ 製作時間短縮の方法
写真	 <p>2級実技課題の総見、 製作に関するアドバイス、 製作物の測定指導</p>
評価と課題	<p>成果</p> <p>① 芯だしを短い時間で行う方法について、貴重なアドバイスを受けることができた。（5分かかっていたものが3分以内でできるようになった。また、芯だしをしながら増し締めする方法などを知ることができた。）</p> <p>② 測定具の使い方・・・特にダイヤルゲージの使い方について詳しく知ることができた。</p> <p>③ 芯押し台を使った、部品2の並行度の出し方を知ることができた。</p> <p>④ 時間短縮の方法</p> <p>1) 少ない動作で工具や測定具を取れるように、工具台等の配置の仕方工夫する。</p> <p>2) 荒削りの切り込みを多くし、少ない回数で寸法精度まで仕上げる。</p> <p>課題</p> <p>① 2級旋盤の受検者が1名のみであるため、次年度の生徒へ技術の伝承がうまく伝わらないのでは？</p> <p>② リングゲージ、銅ハンマ、ハイスの突っ切りバイトなど、まだ必要な工具がそろっていないことがわかった。</p> <p>③ 8/6 実技試験、8/30 学科試験があるので、それまで練習を積み重ね合格させてやりたい。</p>

高度技能取得を目指した生徒の企業実習（建築大工）

1	テーマ	「建築大工の基本と実技指導（技能検定2級取得の対応）」
2	ねらい	建築大工技能検定2級の取得に向けた技術・技能の向上を図るために、企業の技術者や高度技術・技能者を講師に招き、生徒のものづくりに対する意欲を喚起すると共に実践力の向上を図る。
3	期間	平成21年7月21日（土）16:00～19:00
4	研修場所	山形県立長井工業高等学校 実習室 山形県長井市幸町9-17
5	参加者	環境システム科 3年生1名
6	教員氏名	環境システム科 実習教諭 白石栄治 環境システム科 実習教諭 田中知宏
7	講師	井上 正市 氏（建築大工卓越技能者） 丸ト建設株式会社
8	研修内容	建築大工の実技について、 ① 材料の墨付け ② 各部材のほぞ穴、仕口、口脇加工作業 ③ 実際に課題製作を行い、技術を高める。（墨付け、加工、組み立て）
9	写真	 <p>①木取りの方法の指導 ②垂木への墨付け ③講師の井上正市氏</p>
10	評価と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・評価 木材の墨付け、加工、組み立てなどの技術を学ぶことが出来た。 大工工具を使用した木材の加工等が出来るようになった。 墨付け、加工、組み立ての精度を上げるために重要なポイントを知ることが出来た。 ・課題 大工の技術を学ぶ為の工具をもっと揃えなければならない。 工具の研ぎ方、工具の仕込み、自分の使用する工具の手入れの方法など、授業の中で学ぶ時間が必要。